

**児玉 康比古 議員
(一問一答方式)**



- ①長浜港内港埋立事業基本計画について
- ②コミュニティセンターについて

基本計画の変更事項(事業費含む)について

問 長浜港内港埋立事業基本計画が令和6年に策定されているが、人件費や資材等の高騰により見直しや変更された事業、概算金額が大きく変更になる事業があれば伺いたい。

答 基本計画における概算事業費等の変更については、現在埋立造成工事の実施設計業務を行っている段階であるため、具体的な事業費についてはまだ確定していませんが、近年の人件費や建設資材費の高騰による影響は避けられないものと理解しています。

今後、実施設計の完了後に、財源を含め精査を行い、事業費を確定していきますので、現時点では具体的な金額を示す段階にありませんが、令和8年3月に予定している埋立願書の申請に際して、資金計画書や埋立工事に充てる資金の調達方法を記載する必要があり、また当初予算には、埋立工事費など必要な費用を計上する予定ですので、その都度説明していきたいと考えています。

道の駅店舗の運営方法について

問 長浜港内港埋立事業において整備予定である道の駅について、現段階でどのような運営方法を考えているのか伺いたい。

答 現時点では、道の駅は民間事業者の自由な発想やノウハウを最大限に活用することで、地域の特産品等の販売拡大や新たな商品開発につなげ、地域全体の振興と地域経済活性化につながる施設として整備していきたいと考えています。

基本計画の段階では、収益施設の売上高などについて、全国の道の駅における統計的な数値により物販、飲食施設の概算売上高を約3億1,000万円と想定していますが、詳細な数値を用いた算出はして

いません。そのため、今後民間事業者の知見を活用し、事業費の抑制や管理運営の効率化、整備期間の短縮を検討するうえで、詳細な売上高等についても算出していきたいと考えています。

官民連携の導入方策については、令和8年度から調査研究を開始する予定としており、PFIや指定管理者制度の活用、民間提案制度の活用など、様々な可能性を視野に入れながら持続可能な施設整備に取り組んでいきます。

スマートロックの番号付与について

問 予約ごとにスマートロックの番号が変更になるため、利用団体は毎回利用者全員に連絡する必要がある。3か月から半年の期間、同一番号を付与すべきと考えるが、市が実施しない理由を伺いたい。

答 現状のシステムは、予約があれば自動的にランダムの番号が付与される仕組みになっています。また、スマートロックの導入に当たっては、一定の防犯対策は必要であり、地域の皆様が安心・安全に利用でき得るセキュリティー対策を取っていくことは大切であると考えています。

したがって、当面は利用ごとに暗証番号を付与させていただき、一定期間経過後、実際の利用状況等を踏まえ、改めて運用の改善について検討をしていきたいと考えています。

利用団体への要望等の調査について

問 コミュニティセンターにおいて、スマートロックを導入して8か月が経過したが、利用団体の要望事項等を調査されたことがあるか伺いたい。

答 利用予約システム及びスマートロックの導入に当たり、国の交付金を活用しており、3年間利用者満足度等に関する報告が必要なことから、7月に利用者アンケートを実施しています。

コミュニティセンターだけでなく、体育施設を含む施設利用者に対して、多くの方々の要望等を把握しており、今後可能なものは利用方法の見直しに反映するなど、サービスの向上を目指していきたいと考えています。